

東法連ニュース

2022年
(令和4年)
12月号
第430号

一般社団法人 東京法人会連合会 © 〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町5番6号 全法連会館3階

TEL 03-3357-0771 (代) URL : <http://www.tohoren.or.jp> Mail : info@tohoren.or.jp

税を考える週間

子供たちが税務署の仕事を経験 オンラインクイズ大会／おうちで税金研究など実施 キツザニア東京で租税教育

東法連では「税を考える週間」(11月11日～17日)に合わせ、職業体験型テーマパーク「キツザニア東京」(江東区)において、「TAX WEEK 2022」と称し、「税務署」ブースを設置した。

期間中、770名の子供たちが税務調査、411名が税務広報官の仕事を経験、約5000名がラジオ局など「TAX WEEK」に関連したブースに参加した。また、同時に行った「税に関するクイズラリー」には、約3500名が参加した。ラリー参加者には法人会オリジナルシヤープペンがプレゼントされた。



報道陣の中で消費税軽減税率の説明を聴く子供たち



ハンバーガー店で帳簿を確認する子供たち



土産物店で税務調査を見守る重藤哲郎東京国税局長(右手前)

「税務署」ブースで税の基礎知識を身に付け、土産物店等で税務調査体験供たちは、税が社会でどのような役割を担っているかなどの基礎知識を身に付け、施設内の店舗に向き、税務調査を行った。店から帳簿を提出してもらい、記載されている売り上げや消費税額に間違いがないか確認した。参加した子供たちには、法人会マークの入った電卓がプレゼントされた。税務調査の様子はNHK、日本テレビ、テレビ朝日、TBSのニュース番組、読売、毎日新聞など多くのマスコミで取り上げられた。

税務広報官の仕事は、場内の特設スペースで、子供たちが大勢の来場者を前に、税金セミナーを行った。その内容は施設内限りのSNSでも発信し、参加した子供たちには、法人会オリジナル「カンバッチ」をプレゼントした。また、セミナー聴講者には税の使い道についてのアンケートを実施した。

なお、11月14日には重藤哲郎東京国税局長が視察に訪れた。

オンライン税金クイズ大会 おうちで税金研究レポート実施

また、11月15日、17日の両日、オンラインのクイズ大会を開催し、80名が参加した。クイズ大会にはキツザニア東京来場者以外も参加可能で、自宅にいながら家族で税について考えてもらうきっかけ作りに役立ててもらった。解説者として酒井透東法連青連協会長(青梅法人会理事)らも参加した。

更に本年度は、「おうちで税金研究レポート」を実施。税金について自分で調べたり、家族に相談したりしてレポートを作成し、キツザニア東京に提出してもらう。クイズ参加者及びレポート提出者には「法人会税金かるた」がプレゼントされた。

**協力会社推進員ら優績者に
マイスター証の授与と感謝状贈呈**
「福利厚生制度創設50周年キャンペーン」推進大会

東法連は、11月1日、京王プラザホテル（新宿）において、「福利厚生制度創設50周年キャンペーン」推進大会を開催した。当日は、単位会の厚生及び組織委員長、協力会社の厚生など、約130名が出席した。

**キャンペーンの9月末進捗率は
49・4%と目標通り順調に推移**



あいさつする
高橋利充委員長

推進状況報告では、冒頭、高橋利充東法連厚生共益事業委員長（練

馬西法人会会長）から「キャンペーンも残り5か月となり、目標の達成と会員増強の強化に向け皆様の力を結集し推進活動を展開していきたい。それには厚生、組織両委員会と協力会社3者の連携が重要であり、本日の会議を機会に各会においても連携をさらに深めていただき、なお一層の協力をお願いしたい。」とあいさつがあった。

次に、横原

耕太郎東法連専務理事が法人会福利厚生制度の歴史を

振り返り、制度が会員増強や法人会の財政面についても大きく貢献してきたことなどを紹介した。また、AIGによる「真骨頂」など協力会社の新商品の紹介、会員数の状況や東法連の増強策などについて説明した。

キャンペーンの9月末の進捗状況は、東法連ベースで49・4%と、ほぼ目標通り順調に推移している。

マイスター76名に認定証を授与

協力会社各社から推進策等の説明後、表彰式に移り、まずキャンペーン特別表彰の感謝状が高橋委員長から、受賞会5会を代表して



感謝状を受領する
江戸川北法人会
大野平副会長(右)



感謝状を受領する
大森法人会
齊藤 政二会長(右)



マイスター認定証を受領する大同生命
石川里絵氏(右)



マイスター認定証を受領するAIG
矢口慶一氏(右)



マイスター認定証を受領するアフラック
森河祐輔氏(右)



記念品を受領する
大同生命
鈴木祐美子氏(右)



会員増強感謝状を受領する大同生命
石井真智子氏(右)



会員増強感謝状を受領するAIG
筒井卓也氏(右)

続いて、協力会社推進員及び代理店に対するマイスター認定証の授与が行われ、協力3社から各社1名が代表し、高橋委員長から受領した。大同生命は34名を代表し、東京支社の石川里絵氏、AIG損

保は41名を代表し、同社代理店・東京商事株式会社の矢口慶一氏、アフラックは9名を代表し、同社代理店・株式会社ファミリコの森河祐輔氏が受領した。令和4年度のマイスターは84名。詳細は本紙3ページ参照。

会員増強優績者に感謝状を贈呈

次に全法連のキャンペーン奨励策の基準に該当した推進員及び代理店に対し記念品の贈呈が行われた。大同生命東京支社の鈴木祐美子氏が協力3社を代表して受領した。



推進状況報告等を聴く参加者

江戸川北法人会の大野平副会長に贈呈された。次に、前年度において、自ら制

令和4年度 東法連福利厚生制度マイスター

令和3年度の推進結果に基づき、下記84名が令和4年度東法連福利厚生制度マイスターに認定された。マイスター制度は、法人会福利厚生制度における東法連の推進策の一つで、優秀な成績を挙げた推進員に対してインセンティブとなるよう認定証を発行するもの。推進員の信用度を高めるとともに推進のツールとして役立ててもらう。

●大同生命・AIG(大型総合保障制度) (42名)

認定基準 下記の①～③いずれかの基準を満たしていること

- ①年間新規企業数...5社以上獲得
②年間取扱企業数...15社以上獲得
③年間新契約保険金額...10億円以上

ただし、大同生命の入社3年以内推進員は下記基準とする。

- ①年間新規企業数...3社以上獲得
②年間取扱企業数...10社以上獲得
③年間新契約保険金額...7億円以上

大同生命 (34名)

Table with 2 columns: 氏名, 担当単位会. Lists names like 岩本 梨佳, 石橋 麗, etc.

Table with 2 columns: 氏名, 担当単位会. Lists names like 篠原 由美子, 金崎 吉枝, etc.

Table with 2 columns: 氏名, 担当単位会. Lists names like 藤倉 禮子, 小久保 初恵, etc.

Table with 2 columns: 氏名, 担当単位会. Lists names like 岩堀 和美, 青木 憲一, etc.

AIG (8名)

Table with 3 columns: 氏名, 代理店名, 担当単位会. Lists names like 花岡 大二郎, 山本 純, etc.

Table with 3 columns: 氏名, 代理店名, 担当単位会. Lists names like 伊藤 諒, 五十嵐 直也, etc.

●AIG(ビジネスガード) (39名)

認定基準 下記の①②いずれかの基準を満たしていること

- ①新規企業数12社以上かつ新規年換算保険料350万円以上
②新規年換算保険料500万円以上

Table with 3 columns: 氏名, 代理店名, 担当単位会. Lists names like 丸茂 雄一郎, 花岡 大二郎, etc.

Table with 3 columns: 氏名, 代理店名, 担当単位会. Lists names like 木村 翔太, 鈴木 信治, etc.

●AFLAC(がん保険等) (9名)

認定基準 下記の①②の両方の基準を満たしていること

- ①新契約年換算保険料2,000千円以上
②ただし、新規採用企業1社以上

Table with 3 columns: 氏名, 代理店名, 担当単位会. Lists names like 熊谷 淳子, 石神 実津明, etc.

Table with 3 columns: 氏名, 代理店名, 担当単位会. Lists names like 芳野 仁一, 遠山 加代子, etc.

※☆の数は認定回数

(敬称略)

委員会における会員増強と 福利厚生制度の推進に協力を依頼



東法連では11月1日、各法人会の総務担当副会長及び総務委員本部長あてに、委員会における会員増強と福利厚生制度の推進について協力依頼を行った。

東法連では11月1日、各法人会の総務担当副会長及び総務委員本部長あてに、委員会における会員増強と福利厚生制度の推進について協力依頼を行った。協力依頼は、松本光史総務委員長(江東東法連)名による文書で行われ、「全法連では会員増強は組織委員会、福利厚生制度推進は厚生委員会の所掌といったこれまでのような縦割りを見直し、両委員会の相互協力を推奨している。このような協力体制を他の委員会にも広めていくことは有効である

ことから、東法連総務委員会では、9月に開催した委員会で、初めて協力保険

会社から直接現況の説明を受け、情報共有を図った。そこで、これらについてすべての法人会で同様な環境整備をお願いしたい」としている。

両委員会の弛まぬ尽力の中にあつても、社会経済情勢の変化などに伴い、会員数は全国ベースでピーク時と比較して46%減少(132万社↓71万社)、福利厚生制度手数料収入は同様に14%減少(111億円↓96億円)していることから、同委員長は「会員増強と福利厚生制度は法人会運営の基盤であり、法人会の安定的な事業運営のために、是非とも関係各位のご協力をお願いしたい」と改めて言及し、各法人会の取り組みに期待を寄せている。

親会との連携強化に青年部・女性部役員も出席 東法連第3ブロック会長協議会



東法連第3ブロック(品川・荏原・大森・雪谷・蒲田・世田谷・北沢・玉川・目黒・渋谷の10法人会)では11月2日、会長協議会を開催した。同協議会の参加メンバーは従来、会長、副会長、事務局であったが、今年度、同協議会の幹事を務める玉川法人会(坂東義治会長)から、ブロック内で親会と

青年部会・女性部会の連携がより図られるよう、各会の両部会長にも参加要請を行った。当日は、各部部长から、部会

員が減少傾向にあることから親会役員のご子息などへ部会への参加を呼び掛けてほしい、親会事業への協力の頻度が増していることから、より緊密な連携を図っていききたいなどの本音ベースの活発な意見交換が行われた。9月27日に開催された東法連理事会で、王子法人会青年部会が11月24日の全国青年の集い沖繩大会で行う租税教育プレゼンテーションが事前に行われ、連携が図られたこと、さらに部会役員は将来、親会の運営を担うこととなることから、玉川法人会ではあらゆる機会を通じて相互の信頼関係がより醸成される場を設け、会の発展に繋げていきたいとしている。

事業の状況報告があったほか、部会

「消費税のインボイス制度に関するアンケート」を実施

東法連は東京国税局と連携し、消費税のインボイス制度に関するアンケートを10月に実施した。各役員・委員を中心に、回答は1500件を超えた。アンケート結果は東京国税局と共有され、局内の税務連絡協議会で報告されるなど、インボイス制度の周知活動に活かされることとなった。なお、東

「税を考える週間」品川駅前 「電子申告」などを呼びかけ

芝法人会

芝法人会(竹ノ上藏造会長)は、「税を考える週間」初日の11月11日、JR

京国税局から小林栄三会長ならびに青柳晴久税制税務委員長(四谷法人会会長)をはじめ、アンケートにご協力いただいた会員の皆様に対し謝意が伝えられた。

品川駅前および田町駅前で税務広報活動を実施した。この活動には、同法人会の竹ノ上会長をはじめ役員ほか、同会のスペシャリストである女優の佐藤奈織美さんも参加し、駅利用者などに、来年10月からスタートする消費税の「インボイス制度」や、国税電子申告・納税システムe-Taxに関するパンフレットを配布した。活動の様子は、当日のFNNプライムニュースで取り上げられ約30



品川駅前での広報活動に臨む竹ノ上藏造会長(右から2人目)ら参加者



田町駅前での税務広報のパンフレットを配る広報大使佐藤奈織美さん